



二学期もお世話になりました

夏の暑い時期から始まった、常盤中学校の二学期も大過なくまとめをすることができました。これも、保護者の皆様や地域の皆様のご理解・ご協力によるものと、感謝申し上げます。

10月の台風19号による水害では、須坂市内の他校においては学校施設をはじめ、多くの児童・生徒のみなさんが被災されました。常盤中学校では、校友会やPTAの皆様による、募金活動やボランティア活動等による被災者の皆様に対するご支援をさせていただきました。温かなご協力に、感謝申し上げます。校友会やPTAとしていただいた募金については、過日、上高井郡市PTA連合会へ寄付させていただきました。大変お世話になりました。ありがとうございました。

以下に、2学期後半の本校の様子についてお知らせいたします。



PTA 人権教育講演会(ドリアン助川さんの講演)



12月6日(金)、人権教育まとめ集会で各学年生徒の発表の後、合唱曲「旅立ちの時」の作詞者でもある、ドリアン助川さんにご講演をいただきました。ご講演では、ハンセン病患者に対する差別を描き、映画化された小説「あん」を通し、差別の不当さや生きることについての意味をお話いただきました。講演会の最後には、全校生徒で「旅立ちの時」を合唱し、ドリアンさんにお礼の気持ちをお伝えしました。

保護者の皆様や地域の方々のご参加もいただき、大変有意義な講演会となりました。お話を聞いた後の生徒の感想からも、人権について理解を深めたり考えたりする、とても良い機会となった様子が伺えます。

【生徒の感想より】

○私ははじめ「自分の生きる意味とは何か。何のために生きるのか。」という問いに答えが浮かびませんでした。普通に生活して、学校に来ることが当たり前になっていました。でも、講演を聞いて、普通に生きることができるだけでありがたいことなんだ、と思いました。どんな環境に生まれても、生きる意味のない人なんていなくて、どんな人にも生きる権利があるんだ、と思いました。「あん」の制作の話など、自分が興味をもっているお話を聞くことができ、楽しかったです。ドリアンさんのお話を聞いて、「人権と何か。何のためにあるのか」あらためて自分でもしっかりと考えてみようと思いました。

○「旅立ちの時」はどのようにして作られたのか、ずっと不思議に思っていました。けど、



その理由を詳しく聴いて、前よりも「もっと大切に歌おう」「心を込めて歌おう」という気持ちになりました。そして、本の「あん」ですが、まだ途中までしか読んでないので、気になり読んでみようと思いました。ドリアンさんはすごい人でびっくりしました。これからはドリアンさんが言っていたことを思い出し、「旅立ちの時」を歌いたと思います。

第4回絆コンサートより

11月下旬より、本校でもインフルエンザが流行し始めました。インフルエンザの感染を予防するため、予定の日を延期して実施しました。第4回絆コンサートは、12月12日（木）には1年1組と2年4組の発表、12月18日（水）には1年4組と3年3組の発表の2回に分けて実施しました。いずれのコンサートでも、生徒たちは発表に向け、一生懸命に練習しその成果を発揮することができていました。上級生と下級生が共に練習し、力を合わせて素晴らしい合唱を創り上げることができました。いずれの発表も、合唱の美しさだけでなく間に呼びかけを入れたり学級担任と一緒にステージに上がって歌ったりするなど、楽しく充実したステージとなりました。

【地域の方より届いたはがきより】

拝啓

先日の絆コンサートを聴かせていただき、大変感動致しました。回を重ねるごとに、益々上手になり、心に深く響きます。まさに、絆コンサートであると思いました。ご指導いただいております先生方に感謝申し上げます。この度、東日本大会で優秀賞をいただきましたことも、並々ならぬご指導と生徒達の心が一つになっての事と思い、感動しているところでございます。お礼まで。

敬具



校友総会より



12月20日（金）校友総会が開催されました。各委員会より活動報告と反省、質問や意見に対する回答が行われました。3年生が主体の校友会の、第72期校友会のまとめができました。引き続き、3年生を引き継ぐ第73期校友会の役員発表が行われました。新生徒会長の原田 仁さん（2年生）が、各員会の正副委員長を紹介し、拍手で承認されました。新校友会も、常盤中学校が益々発展するよう活躍してくれ

ることと、期待しております。



★12月28日（土）～1月7日（火）まで年末年始休業となります。事前指導は学校でもしておりますが、保護者・地域の皆様には生徒達を温かく見守っていただきますようお願いいたします。★

須坂市立常盤中学校
担当：教頭 新津朋典
電話：245-0326